SEMA SHOW 2017 DEBUT!

ワークエモーションに3ピースモデルが追加!!

レクサスの2ドアクーペモデルRCのスポーツバージョンのFをベースに、ロケットバニーのボディパーツをフルコーディネート。さらにエアランナーのエアキスで低車高ぶりを強調し、まさにストリートレーサー仕様としている。ワークエモーションCR 3Pのディープコンケーブディスクのスポーティーなデザインがばっちりマッチングする。

ワークエモーション ツーピース シリーズ

WORKEMOTION CR 3P

ディープコンケーブのスポーティー仕様ディスクをより強調!

ワークのスポーツ系人気シリーズ「ワークエモーション」。なかでもCR（シーアール）と名付けられたこのモデルは、コンペティション・スポーツをコンセプトとしており、より過酷な要求に対応するスポーツ性を実現するモデルだ。デザインは5本ツインスポークで、軽量化と強度のバランスを見事に実現した高性能仕様といえる。

そのワークエモーションCRシリーズに新作が登場する!! 先頃行われた「SEMA SHOW 2017」でワークUSAが持ち込んだのこのCR 3P は、その名のとおり3ピースモデル。ピアスボルトが設定されたディープコンケーブのディスクが圧倒的な存在感を示している。これまでは同じデザインの2P（ツーピー）という2ピースモデルが上位に設定されていたが、さらなる上級モデルが誕生したというわけだ。現時点（SEMA SHOW開催時）では日本仕様の詳細は公表されていないが、サイズバリエーションは20インチの7.5～15.0Jとなりそうだ。ディスクはディープコンケーブ仕様となると思われる。フィニッシュもパーニングシルバーというこれまでワークエモーションに設定のなかったカラーが追加される模様だ。なお、国内での展開は年内にも正式発表されるとウワサされている。

さて、装着車はレクサスRC で、2ドアの流麗なクーペモデル。ロケットバニーのRC専用エアロをフルキットで装着し、ビス留め仕様のオーバーフェンダーに、張り出し多めのフロントリップ＆サイドスカート。そして巨大なGTウイングでワイド感を徹底的に演出。そしてエアランナーのエアサスをインストールして、ワイドボディの激低車高仕様に仕上げられている。ストックとはまったく違ったヤンチャなストリートレーサースタイルで、鍛造の高級ホイールよりも、走りをイメージさせるワークエモーションがぴったりフィットする。

また、ワークUSAからは、これと同時にVS-TXの新作も同時発表されたが、このモデルは国内での発売予定のないモデル。しかし続々と新モデルが用意されており、2018年のワークの展開は要注目となることは間違いない！ なお、ここでの話はワークから正式発表されたものではないので、仕様が異なる場合があることをご了承ください。

01. 基本デザインはこれまでのCP 2Pと同様だが、ピアスボルトが3ピースモデルであることを活かす。写真ではマット系フィニッシュに見えるが、ブラッシュド系シルバーが本来のフィニッシュ。
02. ワークUSAがセマショーに2017で発表していたワークエモーションCP 3Pのデータ。フィニッシュは、パーニングシルバーと表記されている。

PHOTO>>AKIO HIRONO（平野 陽）
TEXT>>P54（編集部）

巨大なGTウイングと大型ディフューザー、そしてアミートリックスの極大の4本出しマフラーとリアセクションも不敵な！ そんな強烈な仕様でも存在感を違和感なく訴求し、スポーティーさをきちんに高めている。